

- 問1 農業従事者数と耕地面積の関係を示した資料において、他地域が「労働力が多く、耕地面積が狭い」傾向にあるのに対し、北海道は「労働力が少なく、耕地面積が極めて広い」という独自の特徴が見られます。このような北海道の農業の特色を端的に説明したものとして、正しいものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）
1. 大型の機械を活用した大規模経営
 2. バイオテクノロジーを駆使した都市近郊農業
 3. 労働力集約型による小規模経営
 4. 伝統的な手作業を中心とした多角経営
- 問2 北海道の日本海沿岸に位置する稚内付近では、5月から6月にかけて月別平均日照時間がピークを迎えます。このような自然環境に関する説明として、誤っているものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 日本海を北上する対馬海流は暖流であり、この地域の気候に影響を与えている。
 2. 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通して日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。
 3. 5月から6月にかけて日照時間が長くなるのは、梅雨前線の影響を本州ほど受けにくいことも背景にある。
 4. この地域が日本の他地域に比べて高緯度にあることは、夏季の昼の時間が長くなる要因となっている。
- 問3 日本の各地域の農業を比較した統計において、北海道は農業従事者一人あたりの農業産出額が約1570万円となっており、他地域の平均である約310万円と比べて極めて高い数値を示しています。このような北海道の農業を支える背景として最も適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）
1. 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。
 2. 気候が温暖であることを利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて他の地域より出荷時期を早める促成栽培が主流である。
 3. 傾斜地の多い地形を活かして段々畑を作り、果樹などの高付加価値な作物を少人数で栽培している。
 4. 都心に近い立地を活かし、限られた土地に多くの労働力を投入して単位面積あたりの収益を上げる集約的な農業を行っている。
- 問4 北海道の北部に位置しながら、上川盆地で稲作が盛んに行われている理由について、この地域の気候の特性から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 一年を通じて暖流の影響を強く受けるため、冬でも雪が降らず温暖な気候が続くため
 2. 標高が高いため、夏でも涼しく害虫の被害を受けにくいという気候特性を持っているため
 3. 内陸のため夏は比較的气温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため
 4. 季節風の影響で一年中雨が多く、灌漑施設に頼らずに水田に水を引くことができるため
- 問5 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷と、その地域への影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）
1. 暖流の影響で海水が蒸発して氷になったもので、夏の冷害を引き起こす原因となっている。
 2. シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。
 3. 日本海の雪が海に流れ出て固まったもので、主に水田の灌漑用水として利用されている。
 4. 太平洋側から北上してくる大規模な氷山で、冬の間の船舶の往来をすべて止めている。
- 問6 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪いため、大規模な水路が建設された。
 2. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。
 3. 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。
 4. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。
- 問7 世界自然遺産である知床半島を含む北海道の東部沿岸では、夏季に「海霧」と呼ばれる濃い霧が発生しやすい。この現象の要因となる「季節風」と「海流（親潮）」の関係を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
1. 南からの暖かく湿った季節風が、対馬海流の影響で温度が上昇し、空気中の水蒸気量が飽和状態に達するため。
 2. 大陸からの冷たく乾いた季節風が、暖流である黒潮によって温められた海面から大量の水蒸気を供給されるため。
 3. 太平洋からの暖かく湿った季節風が、寒流である親潮によって冷やされた海面の上を通過することで水蒸気が凝結するため。
 4. オホーツク海からの冷たい季節風が、親潮の影響で冷え切った陸地にぶつかり、上昇気流が発生して雲を作るため。
- 問8 日本で最も長い約4445kmの海岸線を持ち、砂の堆積によってできた砂州や砂嘴、陸繋島などの多様な地形が見られる都道府県における工業の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）
1. 京浜工業地帯の中核として、輸入された原油を精製する石油化学コンビナートや、大規模な製鉄所が海岸沿いに密集している。
 2. 日本最大の自動車工業の拠点であり、製造品出荷額のうち輸送用機械が占める割合が極めて高く、関連工場が集中している。
 3. 瀬戸内海に面した立地を活かして、古くから造船業が盛んであり、現在は自動車の組み立て工場も多く進出している。
 4. かつては地域内で産出される石炭や鉄鉱石を原料に鉄鋼業が発展したが、現在は輸入原料を使用し、自動車部品向けの特種鋼などを生産している。
- 問9 日本全体の耕地面積のうち約4分の1を占める北海道の農業について、その生産規模を正しく説明したものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 全国シェア約13.5パーセントの農業産出額をあげており、面積のシェアに比べると産出額の割合は低い
 2. 広大な土地を活かした付加価値の高い農業により、農業産出額の全国シェアは面積シェアを大きく上回る
 3. 耕地面積は全国の4分の1だが、米の生産に特化しているため農業産出額のシェアは5パーセント未満である
 4. 農業産出額の全国シェアも耕地面積と同様に約25パーセントに達しており、面積相応の収益をあげている
- 問10 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため。
 2. 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため。
 3. 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。
 4. 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため
- 問11 北海道にある札幌、室蘭、知床などの都市名や地形名の多くに共通する歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 縄文時代から続く日本の古語が、気候の影響で変化せずに残ったものである。
 2. 明治時代の開拓使が、欧米の植民地を参考にして英語風の響きを漢字にしたものである。
 3. 江戸時代に本州から渡った商人たちが、故郷の地名をそのまま付けたものである。
 4. 先住民族であるアイヌ民族の言葉に、後から漢字を当てはめたものである。